

# 筑後市障害者基本計画の 進行管理は

矢加部 茂晴 議員

**問** 第2期筑後市障害者基本計画の計画期間は平成21年度から29年度までの9年間で、計画期間の2年目が終わろうとしている。計画の進行管理は着実に行われているのか。

**市長** 庁内の筑後市障害者福祉推進委員会において年度ごとに計画の進捗状況を点検、評価しながら、施策の進行に努めるとともに、筑後市障害者施策推進協議会に計画の進捗状況を報告し、協議会からの意見を踏まえてその後の施策を推進することとしている。



障害福祉なんでも相談室「ちくたくネット」  
(市総合福祉センター内)

**問** 評価の段階で、当事者の方や第三者を入れた評価をすべきではないか。

**福祉事務所長** 外部の専門機関による評価については行っていないが、庁外の障害者施策推進協議会にその任を十分に担っていただけると考えている。

## 福祉タクシー 助成事業の 復活はあるのか

**問** 福祉タクシー助成事業が20年度から廃止された。この事業はぜひ存続してほしいという声が上がっているが、福祉タクシーの復活はあるのか。

**福祉事務所長** 19年度までは、対象者を高齢者及び障害者とする福祉タクシーの利用助成制度を設けていた。事業対象は高齢者となっており、全体に占める利用者の数が少なかつたことやコミュニティバスの活用が図られるということで、事業の廃止が決められたところである。しかし、障害者については実施の要望が寄せられており、対象を障害者に絞った事業を改めて実施するというところで本年度庁内の協議が調ったので、現在編成中の来年度予算に今要求しているところだ。

# TPP(環太平洋戦略的経済連携協定) への対応は

松竹 秀樹 議員



農政連によるTPP交渉参加反対集会

**問** TPP参加の問題については、全国の農業者、JA、農政連、農業委員会、全国町村会等が断固反対の表明をしているが、これについてどのような見解をもっているのか。

**市長** ウルグアイラウンド対策をはるかに超える影響を受ける問題であるので、早急にどのような対策をとるかということとは、国が責任を持つて示すべきだ。

**問** 筑後市への影響として、どういうことが考えられるか。

**農政課長** 農水省が示した試算の根拠を参考に筑後市にあてはめると、野菜・果樹については計算には入っていないが、農産物販売高の減少額は合計で17億7,000万円弱になっている。これは、JAの筑後市農産物販売高が48億4,000万円なのでこれの36%に当

**問** 筑後市においても学校の特色化あるいは、食育の一環として取り組むことはできないものか。

**学校教育課長** 学校で食育が最重要課題ということになれば、課題解決の具体的な手法の一つとして「弁当の日」に取り組むことは十分に考えられることで、取り組み核を「弁当の日」でいくというのなら、大変素晴らしいことで教育委員会として支援をしていく。

## 「弁当の日」は 実施に向けて 取り組めないか

**問** TPPへの拙速な参加に反対する意見書が超党派の全議員賛成で今議会に提出されている。これは大変重要で重いことだと思うが。

**市長** 農業の足腰を強くし、国際競争にたえうる農業生産体制、農業環境なくして、TPPへの参加は危ない。